



## 校長室だより

令和4年10月7日

2学期早々から全校で取り組んだ大きな学校行事「文化祭」「体育祭」が終わりました。それぞれの準備に費やした一か月余りの間に、クラスや学年をこえて、「鹿中生」の心のきずなが、より一層深まったのではないのでしょうか。

### 「心」を学んだ文化祭

夏休み前から、舞台発表・展示発表の有志を募り、夏休み明けの舞台オーディションでは、緊張しながらもこの行事で自分らしさを表現しようと努力する有志の姿がありました。各クラスでは、工夫を凝らしたデザインの学級旗制作が始まり、クラスごとの個性あふれる仕上がりとなりましたね。1年生全員で取り組んだモザイクアートは、仕上がりのイメージを全く知らないまま、こつこつ色を塗り続け、当日体育館のギャラリーから吊るされた完成作品を初めて見て、3年生の先輩たちと一緒に驚きや感動を分かち合えました。文化委員は全体の係として、パンフレットの作成や文化祭当日の進行を中心に力を尽くしてくれました。今年は、体育館での舞台発表が実現し、3年生は入学式以来、初めて、学年全体でパイプ椅子に座って肩を並べて過ごす貴重な時間となりました。吹奏楽部の息の合った素晴らしい演奏、読書部の「心にしみとおる」読み聞かせ、ピアノ・琴で奏でられる美しい音色、ユーモアを交えたダンス、大勢の観客を前にした堂々たる歌声、いずれも本当に見事な発表でした。

現在も廊下に設置されている展示作品は、美術部・茶道華道部・読書部の日頃の熱心な活動内容がありのまま伝わってくる力作ぞろいです。

舞台も展示も創作者の「心」が伝わる発表でした。



### 「本気」があふれた体育大会

文化祭直後から、スイッチを体育大会に切り替え、学年ごとの種目・長縄・全員リレーの練習、2年ぶりに復活した応援合戦の練習が始まりました。

特に長縄は、まずはやってみるところから始まり、何度も足が引っ掛かり、縄がもつれていました。しかし、皆さんのスキルアップはすさまじいスピードで進み、いつしか「せーのっ」の声ひとつで息がぴったり合うようになっていました。

応援合戦も、練習当初は動きも手探り状態でしたが、見る人を引きつけるパフォーマンスの工夫をクラスで相談するうちに、放課後の学校のいたるところで、練習に励む皆さんの声や音が鳴り響いていました。仲間と共に心をつなげて、目標に立ち向かっている皆さんの姿には、胸が熱くなりました。

大会当日は、秋空のもと、さわやかな晴天に恵まれましたね。個人種目はもちろん、団体種目・全員リレー・長縄跳びでは、一つ一つの競技を励まし合いながら、「本気」のまなざしで仲間と共に取り組む姿が見られました。午後の応援合戦はアイデア満載で、2分という限られた時間の無限の可能性をいろいろな形で披露してくれました。どのクラスも本当に素晴らしい演技でした。

この大会で味わった「本気」で取り組むことの達成感やそのことで得た大きな自信は、皆さんの次のステップで必ず味方になってくれます。いっしょに心の糧にしていきましょう。



#### 保護者の皆様へ

平素は本校教育にご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

今年度も学校行事がコロナ禍での開催となり、すべての保護者の皆様に観覧していただくことができず、申し訳ありませんでした。そのような中、全校生徒で無事開催できたことに深く感謝しております。教職員を代表し、心より御礼申し上げます。